予算事業ID　020668

（事 業 名）　海洋開発等重点戦略の推進に必要な経費
（担当部局）　総合海洋政策推進事務局

－公開プロセスの評価結果－

＜取りまとめコメント＞ ① 成果指標に関して ・５年ごとの見直しを設定されている点は評価できる。なお、長期アウトカムに途中年度の目標値がほとんど入っておらず、途中年度に一体何をするのかがレビューシートではわかりにくい。スケジュールが定めてあるのならそれにリンクした目標を設定すべき。国民への説明責任も重視されたい。 ② 事業の改善に関して ・各重要ミッションごとにタイムラインが定められている以上は、当該タイムラインに沿ったアウトカムを設定すべき。なお、府省横断的な調整により５年間で獲得できるものを「中間アウトカム」に設定できるのではないか。また、「長期アウトカム」は「フロンティアの開拓による我が国の成長への貢献」でもよいのではないか。基礎研究色が強い事業はそれに応じた指標の立て方もあるのではないか。

＜外部有識者のコメント＞

①成果目標に関して（ex.アウトカムが適切に設定されているか、事業の進捗や効果について成果目標に照らした点検及び改善が行われているか　等）

・短期、中期のアウトカムを飛ばして、いきなり長期で実績が生じるような突飛な事業計画となっている。
・経済政策・安全保障政策・科学的調査等様々なゴールが掲げられている中ですので「実現される新規の経済規模」と、その実現確率の積を眺めながら、議論をする必要があると思います。
・また、海洋で事業が営まれていることの経済価値を測るのであれば、事業が行われていることの近海の面積も一つの指標とされてよいのではと考えています。
・長期アウトカムに途中年度の目標値がほとんど入っておらず、途中年度に一体何をするのかがレビューシートではわかりにくい。スケジュールが定めてあるのならそれにリンクして何かしら目標を設定すべきと考える。
・5年ごとの見直しを設定されている点は評価できる。
・各省が分担管理している研究開発事業について、内閣府が各種の調整役を担われているとのことだが、技術的な内容も含まれることから、どちらかといえば国民への説明が後手に回っている印象がある。国民の理解の下に事業を実施するという面にも、さらなるご留意をいただきたい。

②事業の改善に関して（ex.同じ又はより少ない予算でより多くの成果を引き出す工夫はないか　等）

・各重要ミッションごとで、タイムラインが定められている以上は、当該タイムラインに沿ったアウトカムを設定すべき。
・個別にプロジェクトマネジメント性が高い事業が多いですので、プロセスの進捗度を数値化できるようにしていただきたいです。
・公募という枠組みもあると思いますが PPP として民間事業者の競争力・経営資源を有効活用されることを期待しています。
・各アクティビティの共通項が「海」というだけのように思われる。長期アウトカムもそれぞれ独立であり、このままのアウトカムの設定であるのなら、これらをひとつの事業として取り扱うことが果たして合理的なのか疑問。
・６事業はそれぞれ独立性が高いが、内閣府としてはこれらに横串をさす形で調整機能を担われているとのことである。それを踏まえ、府省横断的な調整により５年間で獲得できるものを「中間アウトカム」に設定できるのではないか。また、「長期アウトカム」は「フロンティアの開拓による我が国の成長への貢献」でもよいのではないか。なお、基礎研究色が強い事業はそれに応じた指標の立て方もあるのではないか。

③その他

・新規の事業と思われるので、支出等不明であるが、今後、より精緻に事業遂行、予算算定等行っていただきたい。

・2024年度に予算執行がなく、アウトプットが何もない事業をレビューの対象として選定することが適当だったのかが疑問。

・個別事業のアウトカムを探索しようとすると、①安全保障、②経済成長、③課題解決へのつながりをどう表現するかということになるかもしれないが、これらを定量的に示すのは難しい。まずはアウトプットベースでよいので、国民に分かりやすく事業内容等を伝えることを念頭に、表現可能な指標の探索を優先していただければ幸いである。